

吃音の理解と支援

～主体性を育むコミュニケーション～ 【講演者】古山慎治

生涯発達支援オフィスことばラボ代表／言語聴覚士



吃音は、周りから誤解や偏見を受けやすく、適切な情報が不足していたり、あるいは情報が錯綜していたりということも少なくありません。

悩みや問題を抱え込んでしまうと、コミュニケーションの意欲や人間関係作りにも

影響を及ぼしがちです。

このDVDでは、吃音の基本的知識を踏まえて、

社会的コミュニケーションの観点から

より包括的に吃音をとらえ、発達段階に応じた、

主体性を育むかわり方や、オープンに話しあい理解しあう

環境作り等について解説します。

自信や主体性を育むために！
吃音を含めた発達の全体像の理解と包括的な支援！

共感、安心感、
信頼感による
「望ましい聴き手」とは！

吃音を
「コミュニケーション」から
考える！



商品番号：F17-S

販売価格：6,000円+税(送料別) 全1巻

吃音の

理解と支援(86分)

- はじめに
- 吃音支援における現在の潮流
- 吃音を包括的にとらえる
 - ジョインソンの吃音立方体モデルから
 - 吃音の症状
 - ・ 中核症状と二次症状
 - 本人の反応
 - ・ 情動、認知、行動
 - ・ 予期不安、失望感や劣等感
 - 周囲の反応
 - ・ 望ましい聴き手として
 - ・ 保護者とともに
 - ・ 園や学校において
- 吃音支援における2つのチャンネル
- 言語聴覚士のかかわり
- おわりに

Y軸：周囲の反応～共感、安心感、信頼感～

- ◆ 吃音を含めた全体像の理解
- ◆ 本人に変わること求めるよりも、聴き手が変わる
- ◆ 「ゆったり」「ゆっくり」は聴き手側
- ◆ 「どってもいいんだよ」は、ことばよりも態度で
- ◆ 学校や家庭、ST(言語聴覚士)等、皆で同じ方向性を向いたかわりを

※本DVDは、2018年1月に行われたセミナーを収録したものです。